



平成29年2月21日（火）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農業技術センター	花き部	加藤・粥川	直 通 058-239-3132 F A X 058-239-3139
農政課	農業研究推進係	神尾・足立	内 線 2804 直 通 058-272-8415 F A X 058-278-2680

岐阜県オリジナルの花き新品種が誕生 冬を彩るローダンセマム「クレールピーチ」「クレールローズ」

県農業技術センターでは、冬の花壇や寄せ植えで楽しめる新しい草花品目の開発が求められていたことを受け、近年人気が高まっているキク科の「ローダンセマム」に着目し、これまでにない花色や、大輪で花卉数が多いなど優れた特徴をもつ新品種「クレールピーチ」、「クレールローズ」を育成しました。

なお、公的研究機関が開発したローダンセマム新品種としては、全国初となります。

記

1 ローダンセマムについて

- ・北アフリカ等の山岳地帯に自生するキク科の常緑多年草。
- ・耐寒性があり、冬から春にかけて、花だけでなく特徴的な銀色の葉も楽しめる。
- ・近年、徐々に品種が育成されているが、バラエティーが少ない。

2 新品種「クレールピーチ」、「クレールローズ」について

(1) 育成経過

- ・平成25年度から交配を開始し、平成27年度末までに2品種を選抜し育成を完了
- ・平成28年6月に「クレールピーチ」、「クレールローズ」として品種登録出願
(出願公表日：平成28年9月29日)

(2) 本品種の特徴

「クレールピーチ」：既存の品種にはない、花卉の表（白）と裏（ピンク）で色が異なる初めてのバイカラー品種。大輪で、花卉数が既存品種の約2倍と多く見栄えが良い。

「クレールローズ」：花色が濃いピンク色で、既存の同色系品種に比べて花卉数が多くボリューム感がある。

- ・両品種とも既存品種に比べ、茎が太く硬いため花が倒れにくく、草姿も美しくコンパクトであることから、冬から春にかけての玄関周りの花飾りの主役として楽しむ

ことができる。

- ・生産にあたって暖房設備の必要がなく栽培しやすいため、県内の広い地域での栽培が期待できる。



「クレールピーチ」

「クレールローズ」

(3) 品種名の由来

- ・本県の清流をイメージした「澄んだ・清い」という意味をもつ「クレール（フランス語）」と花色から「クレールピーチ（淡いピンク色）」「クレールローズ（濃いピンク色）」と命名。

3 今後の予定

- ・平成29年度の夏までに、生産を希望する農家へ親株を配布し、平成30年2月頃からの市場出荷を見込む。
- ・将来的には、両品種で年間4万鉢程度の出荷を目指す。